



スポーツイベントで生み出す職場の 人とのつながり -ワークエンゲージメントの強化-

神奈川大学 小倉ゼミ チームE

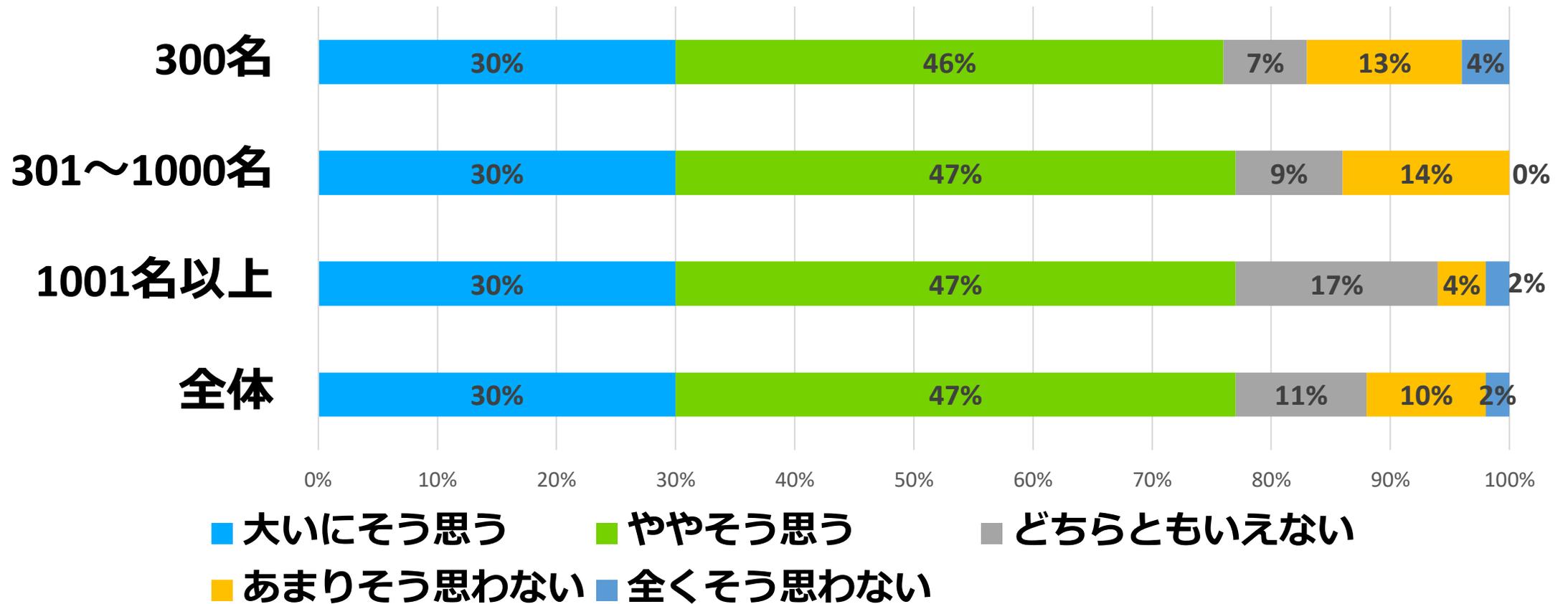
○井上 玲 赤坂 颯太 及川 匠
村石 奈緒 牧嶋 美彩



- 緒言
- 研究方法
- 現状と課題
- 提言
- まとめ
- 引用文献

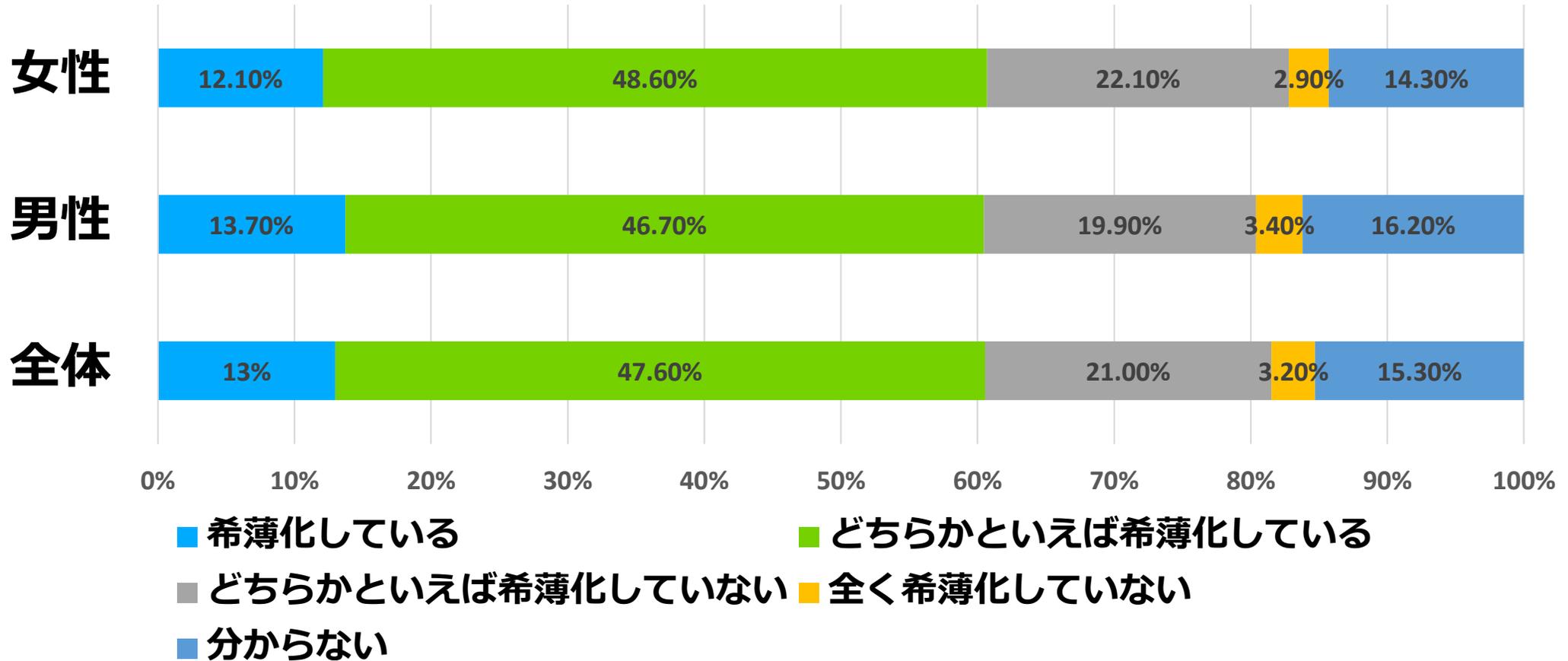


緒言



社内コミュニケーションに課題があるか

資料「社内コミュニケーションに関する調査」HR総研



職場の人間関係が希薄化していないか

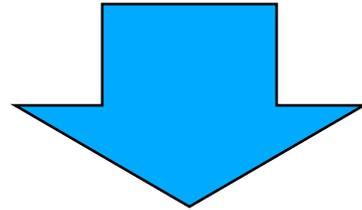
資料 「職場の悩みごとに関するアンケート調査」 第一生命



緒言

コミュニケーションが良好で、仕事の目的が明確であったり、従業員の評価が公正に行われたりするなどの健全な職場では、**仕事へのやりがい**を感じ、**仕事を通じて生き生きとした状態**となるなど、**ワークエンゲージメント**が高まる。

(メンタルヘルスコミュニケーション事例企業の「健康経営」ガイドブック改訂第1版経済産業省)



職場でのコミュニケーションは、仕事にも影響を与える！



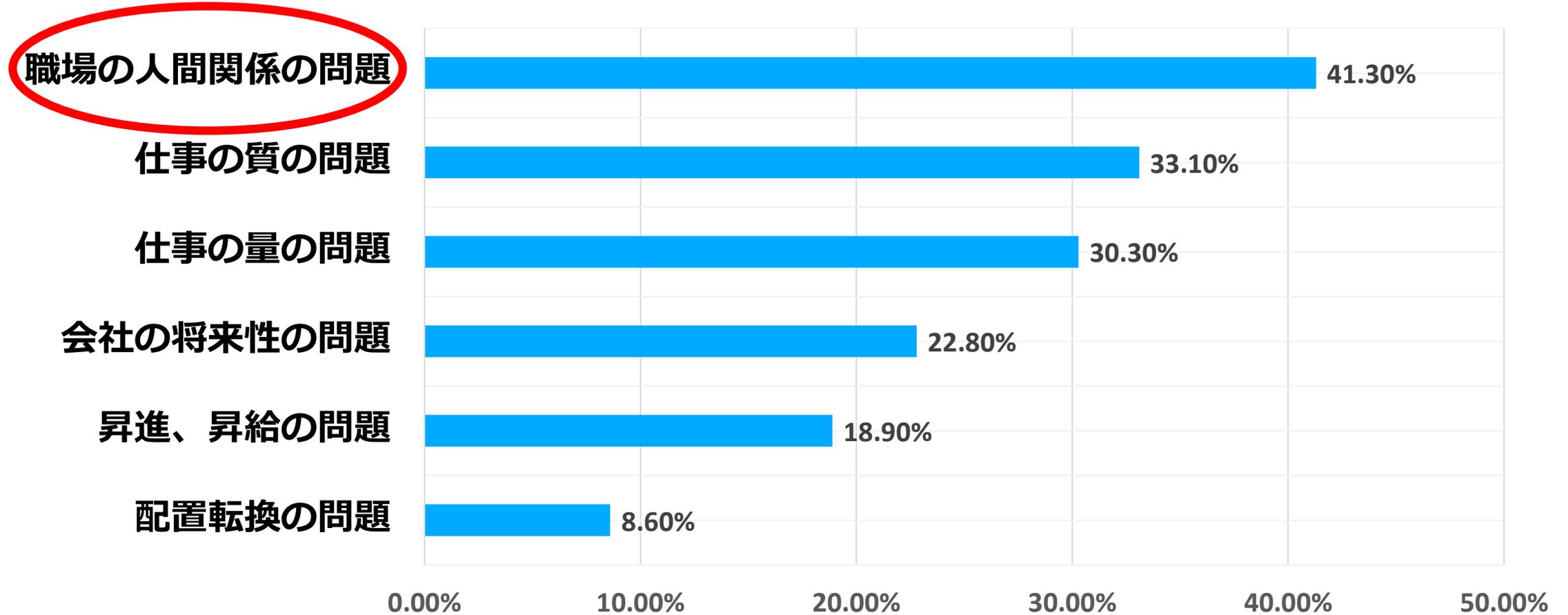
仕事や職業生活に強い不満やストレスを感じる人が増加

約 6 割にも及ぶ

その要因とは、



緒言



職業生活におけるストレスの要因

資料「平成24年労働者健康状況調査」厚生労働省



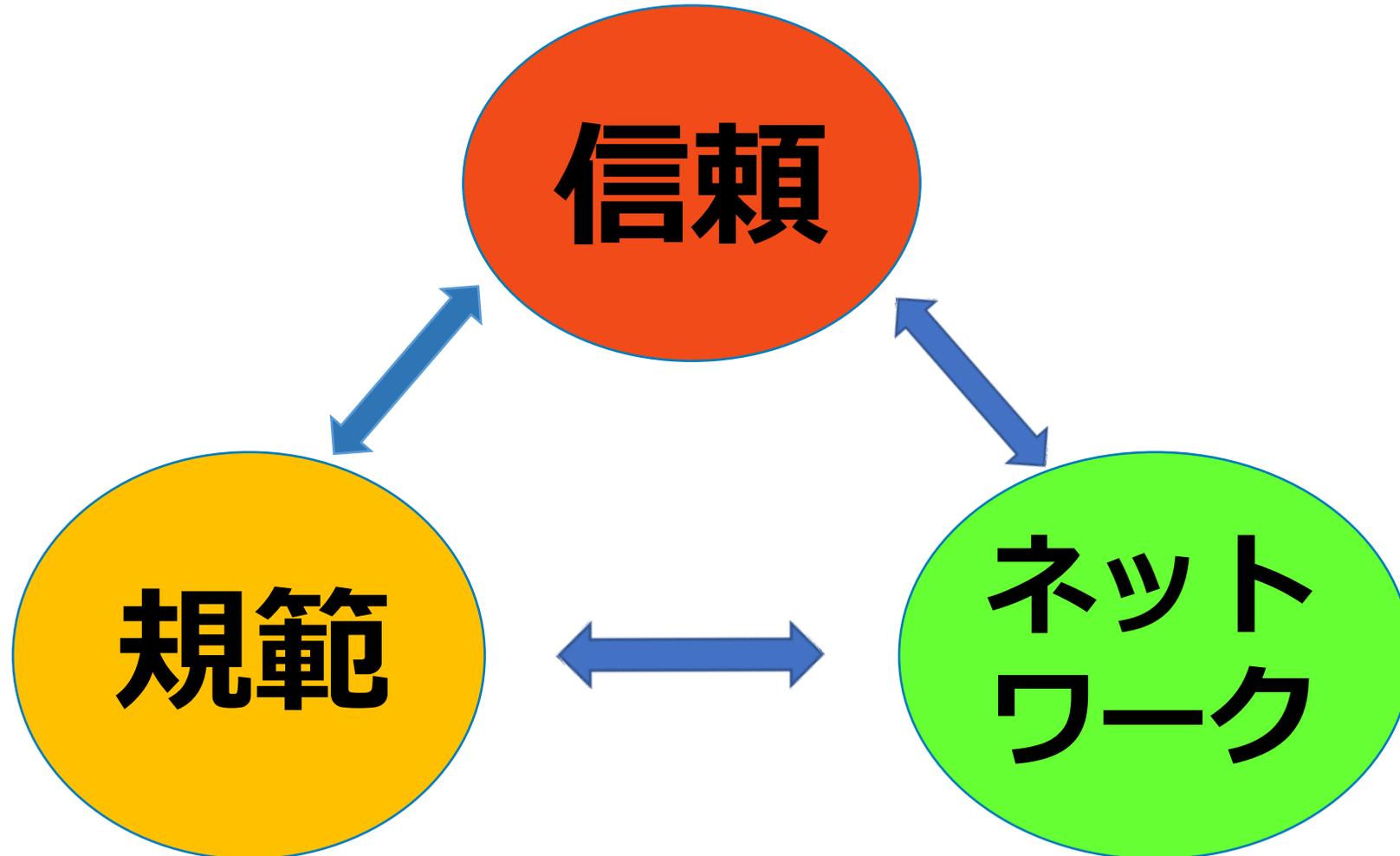
研究の目的

ソーシャルキャピタル（橋渡し型）の視点から、職場内での人間関係の現状の調査を行う。

その調査をもとに課題を見つけ、新たな政策を提言する。



ソーシャルキャピタル





インタビュー

- セントラルスポーツ株式会社

文献調査

現状と課題（インタビュー調査）

定時に帰宅

→仕事は残っているので、
持ち帰って作業

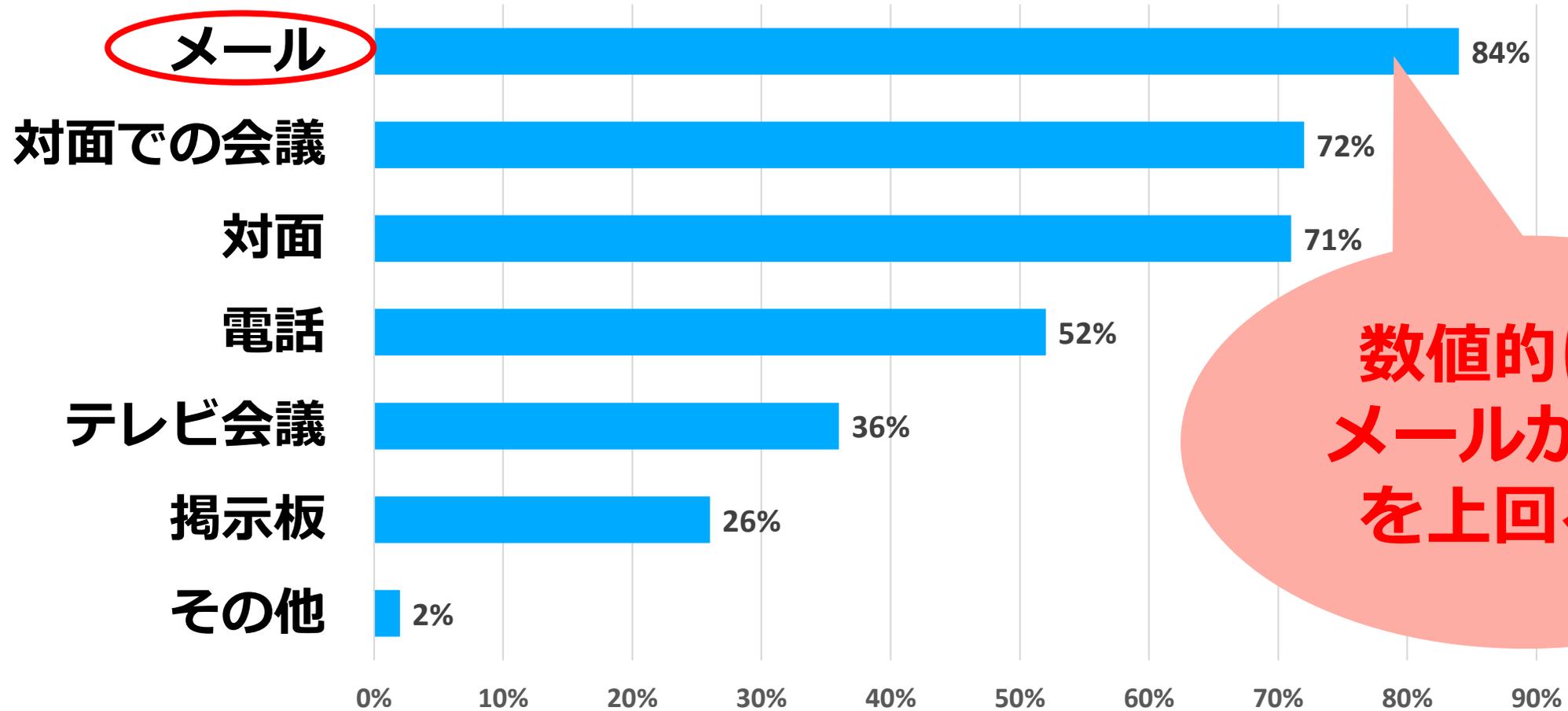
メールでのやり取り

→会話がな





現状と課題（文献調査）



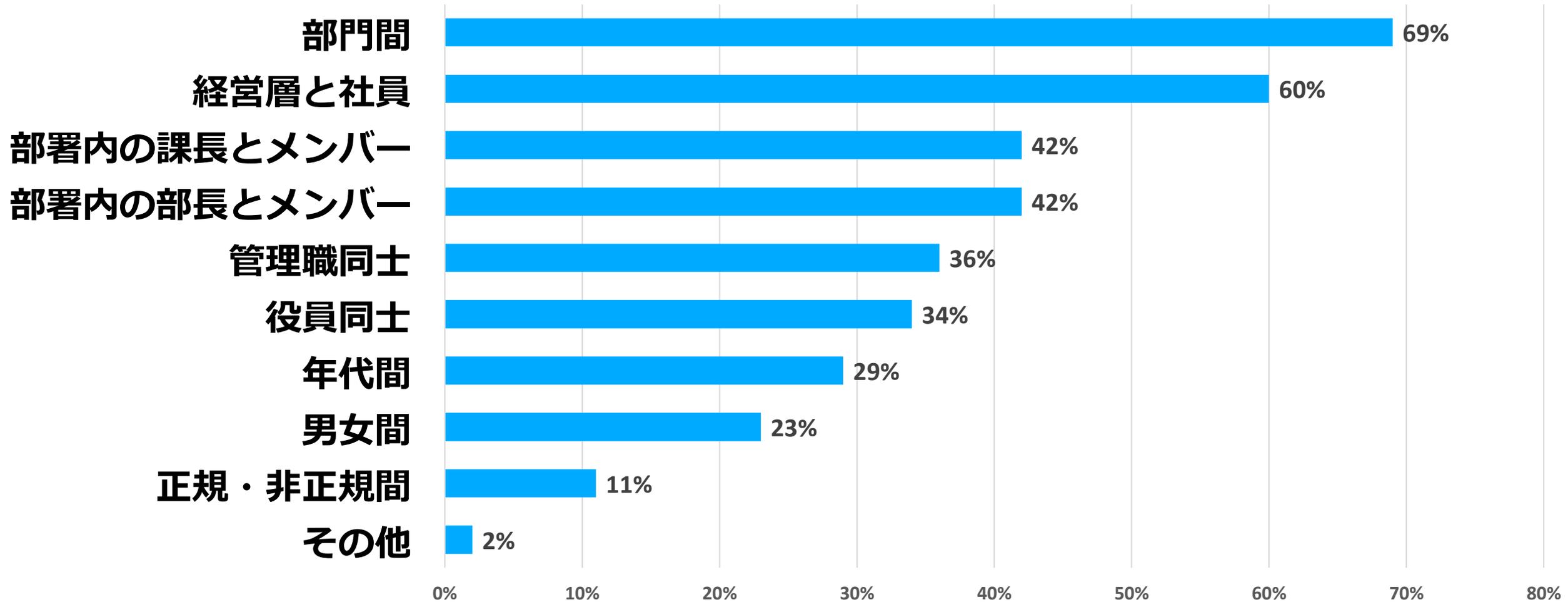
数値的にも
メールが対面
を上回る！

社内のコミュニケーション手段

資料「社内コミュニケーションに関する調査」HR総研



現状と課題（文献調査）



課題のあるコミュニケーション

資料「コミュニケーションに関する調査」HR総研



現状と課題（まとめ）

調査から見える現状と課題とは、、、

1. 業務形態そのものにも課題がある
2. コミュニケーションが主にメールで行われており、**対面によるコミュニケーションが少なく、良質な人間関係が築けない**
3. 部署と部署との間(**横の繋がり**)、経営層と社員との間(**縦の繋がり**)に壁がある



現状と課題（まとめ）

信頼関係や協調的な行動から作り出される**ソーシャルキャピタル(橋渡し型)**が構築されていない



現状と課題（まとめ）

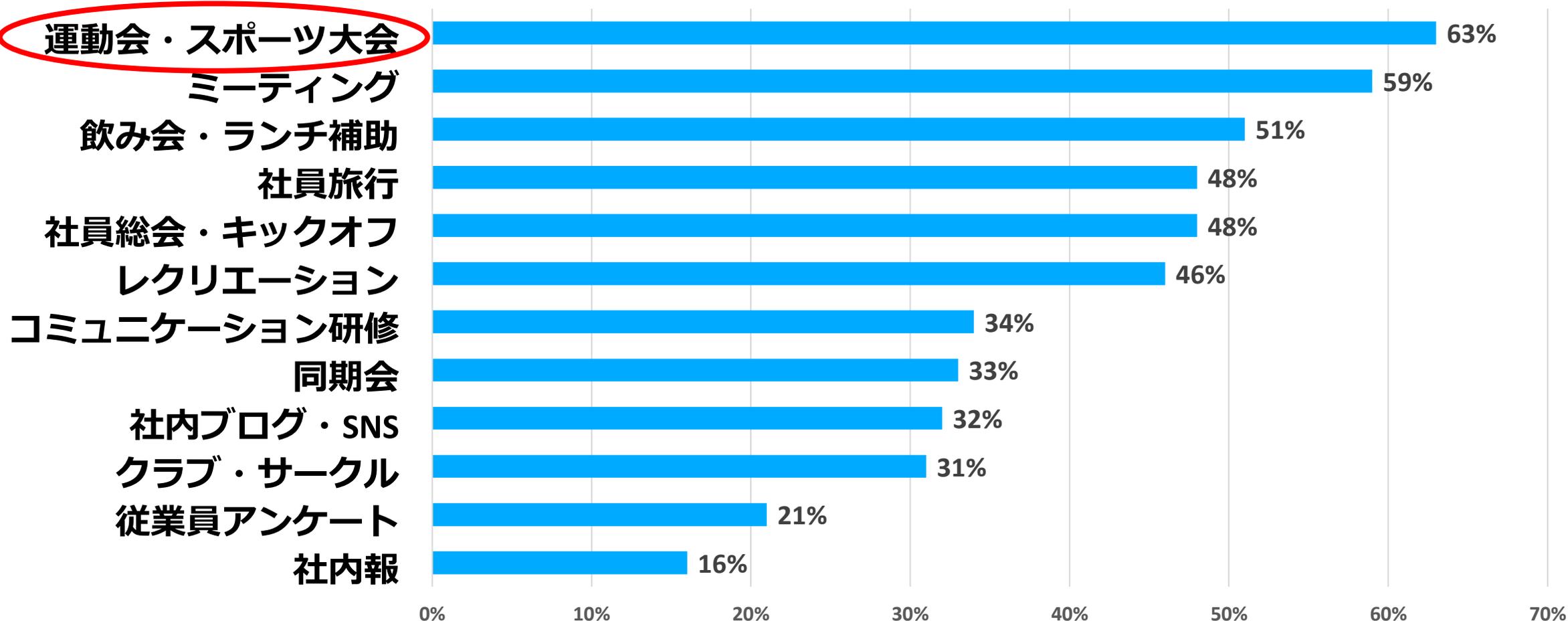
現状と課題から見えてくる提言に必要な要素とは...

1. 一つの**目標**を作り出し、**会社全体を巻き込むこと**
2. 対話による**コミュニケーション**をとる**きっかけ**を作ること
のできる**機会づくり**
3. 部署や役職などを問わない、**縦と横の良質な人間関係の構築**ができる**機会づくり**



現状と課題（まとめ）

一体感や達成感を得られ、ソーシャルキャピタル(橋渡し型)を構築する機会の提供を！

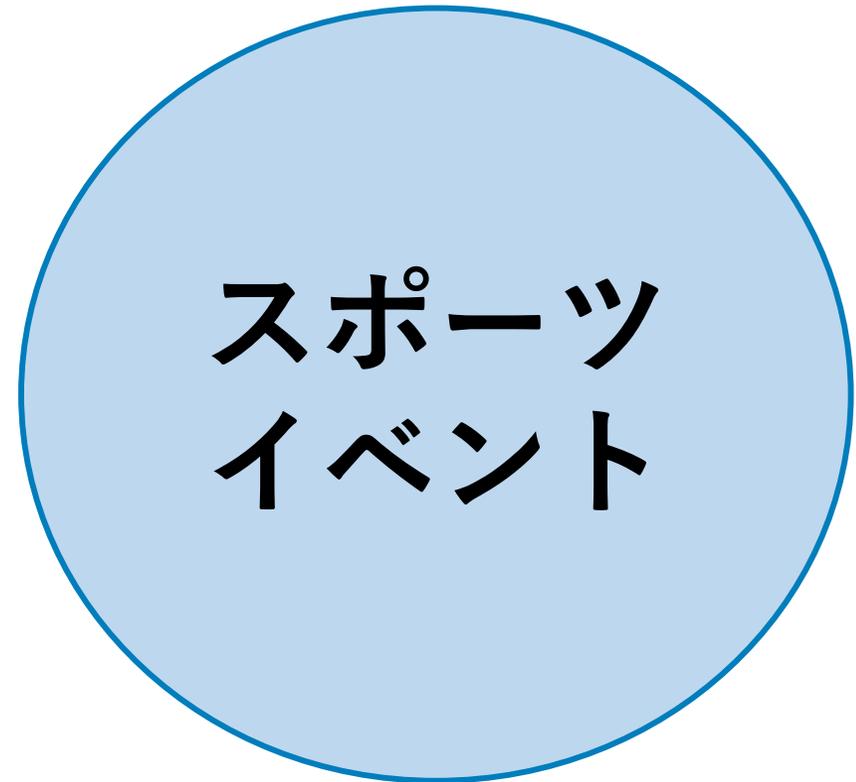
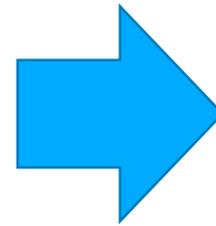
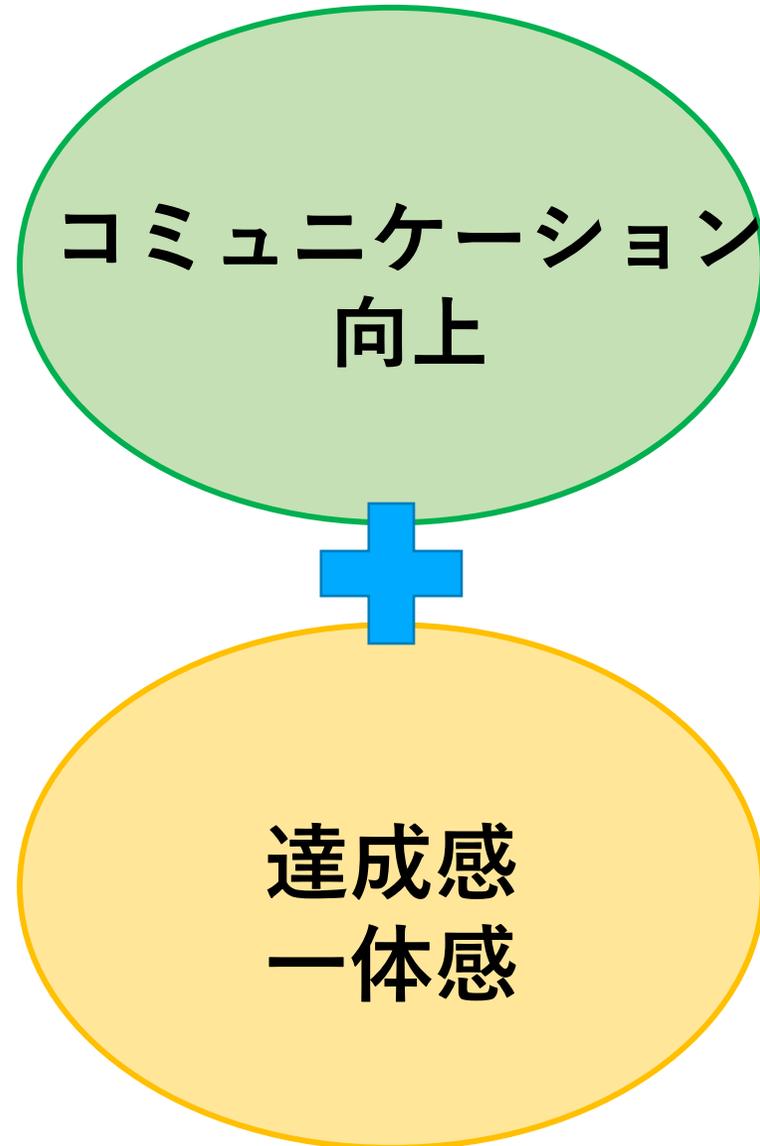


コミュニケーション不全の防止・抑制策で効果を実感できた施策

資料「コミュニケーションに関する調査」



提言





このスポーツイベントを通して、

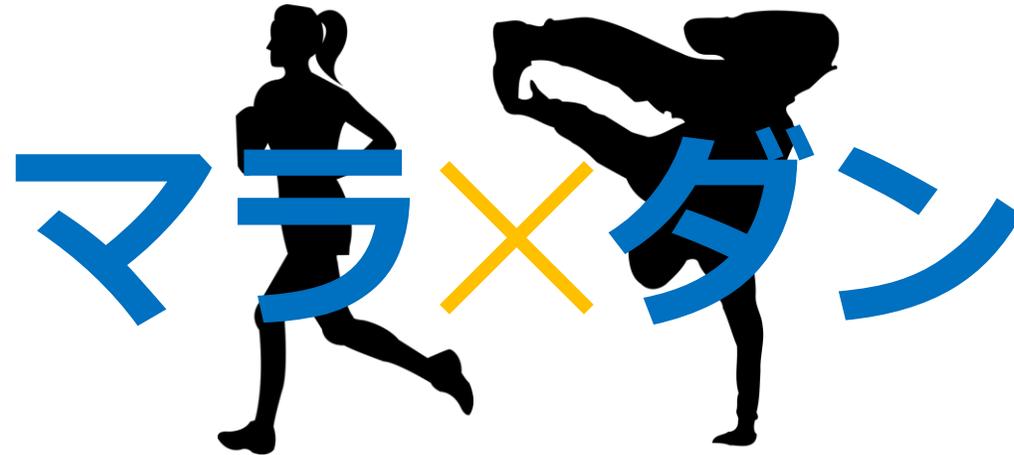
役職や世代間を越えた

コミュニケーションの活性化

共に活動することによるチーム力の創造

を目的とする！

私たちは、働く社会人を対象としたスポーツイベント....



を提案します！



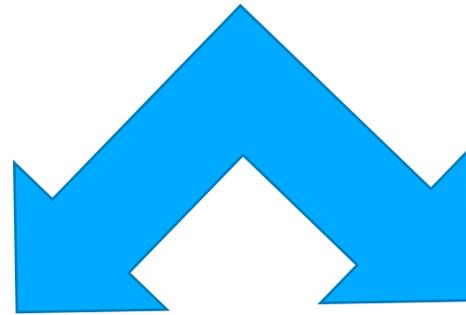
マラ×ダンとは??

- ・ マラソンとダンスを掛け合わせたスポーツイベント

マラ×ダン



チーム
マラソン

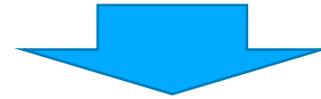


ダンス



開催時期 5月～6月

- 各企業がチームマラソンに参加するメンバーで3分以内のオリジナルダンス動画を製作する
(ダンスの種類は自由でレベルより**一体感**や**楽しさ**を重視)



- 専用Webサイト上にアップし公開する



- 就職支援会社と連携をし、就職イベント等を通して大学生・社会人に動画の宣伝を行うと共に、投票を行ってもらう。(投票は8月まで行う)





チームマラソン部門

開催時期 10月～11月



- 距離は21.0975kmのハーフマラソン
- 3人～15人の**リレー形式**で行う
- 一人が走る距離は自由とする
→ **参加の垣根が低くなることを狙う**
- 必ず**全員**が走ることを条件とする
- 会場はロケーションの良く、交通等に大きな影響を与えない所にする
(例) 葛西臨海公園、駒沢オリンピック公園、お台場、豊洲など



チームマラソン終了後

アワードセレモニーと交流ネットワーキングを開催！

- 各部門上位3チーム、総合優勝チームなどの表彰を行う
- 写真や映像を流し、チームでの大会の振り返りや企業を越えたコミュニケーションの場にしてもらう
- 宣伝や口コミ、SNSを通じた次回の参加や新規チーム参加を促す





イベントの流れ

5～6月

- ダンス動画の作成
- Webにアップロード

7～9月

- ダンス投票期間
- ダンス表彰式

10～11月

- チームマラソン部門の実施
- アワードセレモニー
- 交流ネットワーキング



運営組織

主催：地域の商工会議所
参加対象：一般企業・団体
広報 審査：リクナビ・マイナビ 投票評価
組織：マラ×ダン振興委員会

参加方法

ホームページからの申し込み

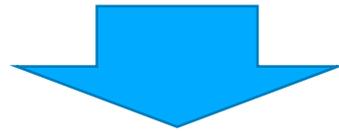




ダンスによる効果

ダンスやリズム運動のような**音楽のサポート**がある**運動**は、ボディコンタクトをとることが他者との共有空間を作り、身体だけではなく心も触れ合えるコミュニケーションとして有効

資料「音楽と身体接触を活用した運動が心理状態と対人関係に及ぼす効果」



コミュニケーション活性化
ストレス低減





チームマラソンによる効果



期待される効果（一次効果）

コミュニケーションの向上

ソーシャルキャピタルの構築

マラ×ダン

運動不足の解消

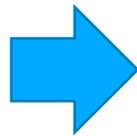
ワークエンゲージメントの強化



期待される効果（二次効果）



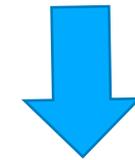
動画をアップ



動画を見る



投票...



だけでなく！！



企業を知る

自社の
イメージアップ！

投票をきっかけに企業の
新しい一面を知る！



マラ×ダンの実施により、コミュニケーションの活性化とチーム力の創造ができ、
良い人間関係の構築につながる。

また、ソーシャルキャピタルの構築やワークエンゲージメントの向上が見込める。



引用文献

- 「社内コミュニケーションズに関する調査」 (HR総研、2016年)
<http://www.hrpro.co.jp>
- 「平成24年労働者健康状況調査」 (厚生労働省、2012年)
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/h24-46-50.html>
- 「職場の悩み事に関する調査」 (第一生命経済研究所、2008年)
group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/ldi/news/news0802.pdf
- メンタルヘルスコミュニケーション事例企業の「健康経営」ガイドブック改訂第1版経済産業省 (経済産業省、2014年)
- 「音楽と身体接触を活用した運動が心理状態と対人関係に及ぼす効果」 (スポーツ心理学研究、2014年、41巻1号 p.19-34)
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjspopsy/41/1/41_2013-1222/article/-char/ja/
- 「提言：これからの労働者の心の健康の保持・増進のために」 (日本学術会議、2014年)



ご清聴ありがとうございました